

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

事業番号		0195/403010/01/00		事業の種類	5		
年度	19	事務事業名	相生市まちづくり活動助成事業	作成日	平成21年1月20日	重要度	3
予算事業名	相生地区まちづくり協議会活動助成金		担当部課名	建設課			
政策名	計画推進のために						
施策名	市民参加のまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
根拠法規及び関連法規	相生市まちづくり活動助成要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民団体					
	誰(何)を対象として	市民団体					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活環境の改善、都市機能の更新等また、都市計画マスタープラン等に整合した市街地の計画的な整備を推進する住民団体等を助成することにより、自主的なまちづくりを促進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	まちづくり推進のため1団体に対してパンフレットの作成、講演会等講師の謝礼、団体の運営に必要な事務に要する費用に対し7年間、毎年30万を限度とし助成。					
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	運営委員会等	回	17	15	14	15

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3
	主幹以下職員	0.070	0.075	107.1	0.010	13.3	0.010	100.0
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	1,579,928	1,358,484	86.0	826,595	60.8	783,692	94.8
	事業費	300,000	300,000	100.0	300,000	100.0	300,000	100.0
	合計	1,879,928	1,658,484	88.2	1,126,595	67.9	1,083,692	96.2
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	1,879,928	1,658,484	88.2	1,126,595	67.9	1,083,692	96.2
	合計	1,879,928	1,658,484	88.2	1,126,595	67.9	1,083,692	96.2

4 評価指標

【有効性】

指標名1	会議開催状況								
指標説明(式)	実施開催回数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
回	目標	17	17	100.0	15	88.2	15	100.0	
	実績	17	15	88.2	14	93.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

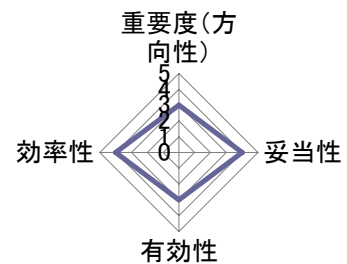
指標名1		会議1回にかかるコスト							
指標説明(式)		事業費合計÷年間の回数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	110,584	110,566	100.0	80,471	72.8	72,246	89.8	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	住民主体のまちづくりを行うに当たっては、住民団体に対する支援は必要である。	4	4
	市民ニーズ	住民の市政参加の意欲は高く、「まちづくり協議議会」等の関心も高い。		
有効性	成果目標(改善)達成度	予定どおり会議等を開催し、地区住民等が住民主体のまちづくりの重要性等を話し合い、理解を深めた。	3	3
	市民サービス	自主運営が行われ、まちづくりに対する意識が高まり、市民サービスとして向上が図れた。		
効率性	手段の最適性	会議の開催日等は定例化を図り自主運営を行っている。	4	4
	コストの節減	自主運営を図っていただくよう全ての面について協議会で処理を行って頂くとともに、毎月出席していた職員の回数を削減している。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	住民主体のまちづくりを推進するためには、住民の意識改革が一番のポイントである。ここ数年間まちづくり塾に一部の人が参加しているがまちづくりは息の長い取り組みが必要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	期待する目標	まちづくり協議会が一人でも多くの人に活動を理解させ、行政任せにしないよう自分たちのまちは自分たちで守る人材育成に力を入れたい。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

会議の開催日等は定例化を図り、自主運営を行う。

検討の有無	-
総合指標	19